

一般質問



安 井 光 子 議 員

**高齢者が安心して暮らせる
まちづくりを**

問 高齢者が安心して暮らせ
るまちづくりについて聞く。

(1) 孤独死や自殺者の実態把握をしてほしい。把握なくして対策もないのではないか。

(2) 23年4月から、総合福祉センター内の児童館等は新弥生保育所【】の完成とともに移転する。

空いた部屋を高齢者や障害者の場所として活用してほしいがどうか。

(3) 高齢者給食サービス

老朽化に伴い、既存敷地西隣に拡張し、児童館、子育て支援センター等との複合施設を建設中。22年度末開所予定。

【】について聞く。

市が定める要件を満たした一人暮らしの高齢者等を対象に、昼食宅配を行なうサービス。宅配には自己負担1食300円が必要。

① 1年に一度はアンケートを取つてほしいがどうか。

(6) (介護保険制度の)住宅量を少なくして値下げする方法はないか。

③ 7日間配食できる体制をつくるべきではないか。

(4) 緊急通報システム【】について、対象者が所得税非課税世帯に限られている。所得により一部負担をしてもらい、希望者が利用できぬようにしてはどうか。

一人暮らしの高齢者、身体に備え、無線発信機や通報機器を貸与する。市が定める所得税非課税等の諸要件がある。

(5) 高齢者日常生活用具購入費助成金【】を活用し、火災警報機設置を推進してほしいがどうか。

一般の消火器を助成対象にしてはどうか。

市が定める要件を満たした一人暮らしの高齢者等を対象に、IH調理器や火災報知機、自動消火器の購入費用の一部を助成する。

住宅改修は支払方法改善を図る

答 介護高齢課長

(1) できる限り実態把握に努めたい。

また高齢者の不安解消のため、6月より一人暮らし高齢者を対象に、救急医療情報キットを配布している(2) レクリエーション活動等、高齢者の居場所としての考えを持つて いる。

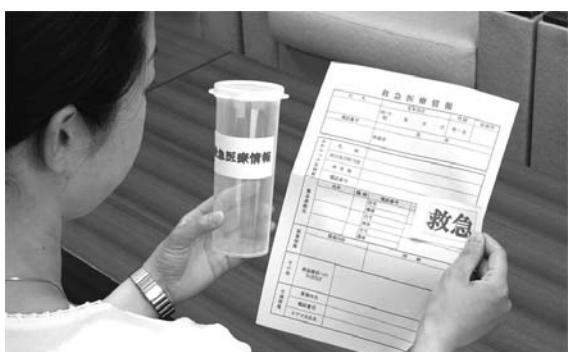
(3) ① 数年に一度の実施と
② 利用者の見守りも目的としており、値段を下げることは現在考えていない

(3) ③ 条件を満たした業者

現行制度は、自己負担でいったん全額を業者に支払わなければ、助成金の受領はできない。

市が業者に支払う。

自己負担分の支払いと事業実施が可能。助成分は直接



(4) 費用面もあり、すべて可能と考えている。

(5) 毎年春の火災予防週間に、一人暮らし高齢者の家を回つており、今後とも制度周知を図つていただきたい。

消火器は(別で)補助金制度があるので、それを利用してほしい。

(6) 導入に取り組んでいきたい。